

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
現代社会	2 単位 国際社会	国際関係論	土谷 岳史	1 年次	春

授業のキーワード	近代、権力、文化
授業の概要・目的 及び修得させる知識・技能	本講義では国際関係の成り立ちから現代の国際社会の問題までを歴史的に取り扱う。「国際関係」が近代的な秩序であり、「国際関係論」が総力戦の衝撃を受けて 20 世紀に生まれた学問であること、その学問の目的と国際関係論に突きつけられた現代の課題を理解することを目指す。
履修のアドバイス・ 前提科目等	各講義の際に参考文献を紹介する。参考文献に加え、新聞やその他の書籍などで積極的に知識を得て、自ら考えることが求められる。

授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第 1 講	イントロダクション	本講義の目的、内容、求められる受講態度について説明する。	第 9 講	国際政治学の誕生	「国際政治学」という学問はどこから来たのか？学問とはなにか？を考える。
第 2 講	国際関係の成り立ち：ウェストフアリア体制とはなにか？	「国際関係」が近代の新たな秩序であることを理解する。	第 10 講	冷戦と国際関係論：米ソの覇権と安定	冷戦と国際関係理論の相互作用を理解し、学問の政治性について考察する。
第 3 講	18 ～ 19 世紀：勢力均衡	18～19 世紀の国際関係を特徴づける理念である勢力均衡について理解する。	第 11 講	植民地の独立：ナショナリズムとポストコロニアリズム	近代的秩序である国際関係の権力性への対抗とそれに伴う国際関係の変容を明らかにする。
第 4 講	18 ～ 19 世紀：文明／野蛮	近代的秩序である国際関係＝国際社会を支える原理について考察する。	第 12 講	冷戦終結と新たな秩序の模索：国際関係論の問い直し	冷戦後の世界認識の変化と新たな秩序の模索を考察する。
第 5 講	近代国家としての日本の誕生	国際関係に参加していく中で生まれた近代国家「日本」の姿を明らかにする。	第 13 講	現代の国際紛争：人間の安全保障と聖戦／正戦の復活	現代における戦争の位置づけと戦争と関係する理念について考える。
第 6 講	総力戦と戦争違法化①：第1次世界大戦と兵器の革新	テクノロジーの進歩と国際関係の変容について考察する。	第 14 講	日米軍事機構の一体化	現代の日本がとっている外交方針と軍事的変容について明らかにする。
第 7 講	総力戦と戦争違法化②：第2次世界大戦と人道に対する罪	戦争の変化が人類にもたらした衝撃から第 2 次世界大戦を考える。	第 15 講	定期試験	
第 8 講	平和の模索：国際連盟と国際連合	2 度の世界大戦を経る中で模索された国際秩序構想とその結果としての現代国際関係を理解する。	評 価 方 法		期末レポート 80%、出席等 20%（中間レポートなどを課すことがある）
備 考 (関連する資格・試験等)					
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		